

曲想を感じ取り、曲にふさわしい表現を工夫して演奏しよう

()年()組()氏名()

リコーダー作品：変奏曲「風」

1 **変奏1**・**変奏2**について、どのようなタンギングの発音やアーティキュレーションで演奏したらいいか考えて楽譜に記入しましょう。

どんな風が吹いているのか、イメージしながら奏法を考えてみよう。

☆ **主題** どんな風のイメージ []
【タンギング： 】

【奏法を決めた理由】

(1) **変奏1** どんな風のイメージ []
【タンギング： 】

【奏法を決めた理由】

(2) **変奏2** どんな風のイメージ []
【タンギング： 】

【奏法を決めた理由】

タンギングの発音				アーティキュレーション	
	固い音	柔らかい音	さらに柔らかい音	【奏法】	【記入の仕方】
高音	t i	d i	r i	①スタッカート奏法 …スタッカート記号	
中音	t u	d u	r u	②ノン レガート奏法…未記入	
低音	t o	d o	r o	③ポルタート奏法 ……テヌート記号	
				④レガート奏法 ………スラー記号	

2 授業を振り返りましょう。

- ① 曲のイメージもちながら、演奏の仕方について考えることができた。〔できた・まあまあできた・あまりできなかった〕
- ② 自分の考えた演奏の仕方を表現することができた。〔十分表現できた・まあまあできた・あまりできなかった〕
- ③ 学んだことや演奏の仕方について工夫したこと、感じたことを書きましょう。